

学 年	教科等	単元名	日 時
第 6 学年	社会科	新しい日本、平和な日本へ	令和 4 年 1 月 19 日 (水) 6 校時

【当日の板書】

研究内容 1 (前半) 部分

研究内容 1 (後半) 部分

研究内容 2 部分

【研究内容 1 について】

何か手に持っているよ。細長いものだから「銃」なのかな?

着ている服も軍人が着るようなものに見えるから「銃」でいいのではないかな。

歩き方も違って見えるよね。自由な歩き方をしているね。

こちらは、軍人のように見えるから行進のような感じがするね。

【ロイロノートを活用して意見を出し合っている様子】

比較する資料として、「学徒出陣」と「1964 年東京オリンピック開会式」を利用した。ロイロノートに写真を提示することで、二つを見比べたり、細部を拡大したりしながら調べる姿が見られた。

また、オリンピックを開催できる国はどのような国でなければならないのかイメージを出させることで、戦後日本の「変化」について考えることができるようにした。

世界中の国が集まるので、戦争のない平和な国でないといけないと思います。

お金がないと施設等作れないので、豊かな国ではないかと思っています。

【オリンピックを開催できる国のイメージを話合う様子】

【研究内容 2 について】 ※ペアで意見を出させた後、全体で出た意見を確認するようにした。

オリンピックを開催するために、戦後日本が解決しなければならないことは何だろうか。

【発問】

戦争を行ったということは、外国に様々な迷惑をかけていることだよ。

【ペアでの話し合い】

戦争で迷惑をかけた国と仲直りをする必要があるよね。

オリンピックを開催するためには、戦争をして失った信頼を取り戻す必要があると思います。なぜなら、オリンピックを開催するということは、世界中の国々が集まるからです。

その意見に関連して、外国との関係をどうにかしてよくしていったと思います。関係がよくなないと、選手を派遣することができないと思うからです。

競技場などを造る必要があるから、お金が必要になってくると思います。

【全体での話し合い】

研究内容 1 の手立てを基に出された意見から、「解決しなければならないことは何だろうか。」と問うことで、東京オリンピックを開催するまでに、日本がどのようなことを解決していかなければならないのかについて考えることができるようにした。

これまでに出了た意見を基に、戦後日本の現状を踏まえた考えを出していくなかで、これから調べていかなければならないことについてまとめていくことにつながった。

【考察】

「日本のきまりや制度を変えていく必要があると思います。」という発言をした子どもの意見に「あれ、そういえば 4 月の時に学習した～」と「日本国憲法」の学習をつなげていく姿が見られた。社会科研究部がめざす「学びをつなぐ」姿の一端を見ることができた。本時学習に最適と思われる社会的現象を基に本研究を進めていくことの有効性を見ることができたと思う。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp